

クラス番号	915	担当教員名	岡 久美子
テーマ	地域福祉を創る・・・地域と私、そして家族		
ゼミナール概要			
目的、内容、方法等： ・このゼミでは、学生が地域に出かけていき、人々とふれあい、地域社会の中に起きている問題を発見し、分析し、解決する方法を考えることのできる力を身につけることをねらいとします。 ・地域に行き、問題意識を持って大学に戻り、大学での学習（文献での学習や講義）に取り組むという学びのサイクルをつくることによって、地域福祉についての理解を深めます。 ・こうした活動を行う際の一つの視点として、男らしさや女らしさあるいは男は仕事女は家庭などに象徴される、社会的・文化的・歴史的につくられた性のありよう（ジェンダー）、性（男女による二分法の性別や区別への疑問、セクシュアリティ）、家族などに関する社会問題についての基本的な知識を得るとともに、それらを社会科学の枠組みで構造的に考察できるようになることも目指します。 ・授業は、グループワークを基本に、進めます。学生自身が取り組みたい事柄をテーマに選んでください。どうアプローチするかはゼミ生の提案と工夫次第です。ゼミの進め方は、ゼミ生が自主的に運営されることを期待します。 ・2015年度には、美浜町商工会青年部とのコラボレーションで、「MIHAMA F-es in 2015 地域の魅力発掘市」（共催：日本福祉大学・美浜町）を10月18日に美浜町総合体育館全館を使用して開催しました。ゼミ生全員が、全体企画から広報や運営までを中心となって担い、地域やNPOの方々に提案し・交渉し・交流する中で、どんどん力をつけて輝いていきました。企画を実現する中で見えた課題等にも取り組むことで、次のステップへと歩みだしています。 授業計画： ・前期は、私から提供する資料だけでなく、ゼミ生自身にも幅広いテーマに添ってフィールドワーク先や文献・資料を探していただき、ふれあい、読み、レポートをまとめていただきます。 特に地域における生活問題やその支援について考察をいたします。 ・夏休みや後期は、各自のテーマに関連する機関や施設、NPOや団体などを訪問調査します。そして、事前学習と調査結果をレポートにまとめます。			
担当教員からのメッセージ			
		・人と人との「つながり」をつくりなおし、支えあって暮らしていける地域社会にすることによって、だれもが地域で生活できるようにすること（＝地域自立生活）をめざした活動が地域福祉です。地域福祉は、すべての社会福祉の基盤です。また、地域福祉を学ぶことは、本当の意味での「生活」（日々の暮らし、人生）とは何かを考えることでもあります。 ・文献・資料をきちんと読めるようになること、それぞれのテーマについての考察を深められるようになること、それらを通じて社会構造と個人との関係の中で問題をとらえ課題の解決を考えられるようになること、コミュニケーション能力を高めることなどを目指します。「こんな地域をつくりたい」という夢を語り合いながら、どうしたらそれが実現できるかをみんなで一緒に考えていきましょう。	